

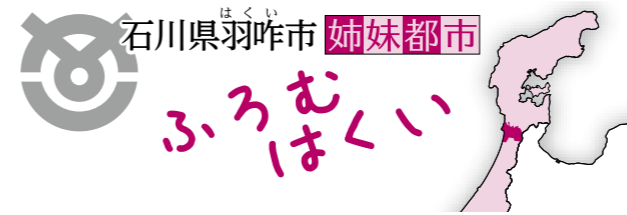
## 年賀あいさつ



羽咋市長 山辺芳宣

できます。藤岡市の皆さまにも、ぜひ一度お立ち寄りいただければと思います。

両市の交流と親善がより一層深まることを祈念するとともに、藤岡市のご発展と市民の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



明けましておめでとうございます。藤岡市とは、昭和61年に姉妹都市提携を結んで以来、文化やスポーツなど幅広い分野で市民交流を重ねてまいりました。

昨年は藤岡まつりにご招待いただき、勇壮な神輿や祇園ばやしを拝見し、大変感銘を受けました。このほかにも、高等学校の部活動や俳句の会の交流も行われ、また一つ交流の輪が広がったことをうれしく思います。

さて昨年7月、羽咋市に「道の駅のと千里浜」がオープンいたしました。自然栽培の農産物をはじめ、里山・里海からの豊かな地元産の食材を直売所で購入でき、レストランでも味わうことが

## まちな声

みなさんからの声を紹介します。

### 寄せられた声

**平** 成生まれの私。平成の元号があと1年ちよつとで変わることに、寂しい感じと、生まれて初めて元号が変わるので新鮮な感じだ。(20代・女性)

大きな節目を迎える2019年。明治・大正・昭和・平成ときて、次の元号が何になるか期待が高まりますね。

**先** 日、1歳の娘をおんぶしてレジに並んでいました。レジは混んでおり、娘は少しご機嫌斜めに。その時、私の後ろに並んでいた50代くらいの男性が娘をあやしてくださいました。お陰様で娘はニコニコになりました。娘だけでなく、私までうれしい気持ちになった出来事でした。(30代・女性)

お子さんも男性の優しさに触れ、笑顔になれたのでしようか。周囲のちよつとした気遣いや優しさはうれしいものです。

**藤** 岡市に引越して来たばかりの頃、友だちもいなく1歳の娘と過ごしていました。そんな時、勇気を出して近くの支援センターへ行ってみたら、楽しく通わせてもらうことができました。今年から小学生になった娘。私は今でも支援センターでできた友だちと仲良しです。支援センターに感謝です。(30代・女性)

子育ての不安や悩みを共有できる大切な友人ができたのです。子どもと子どもを持つ親が交流を深めることができる地域子育て支援センター。ぜひたくさんの方に活用いただき、交流の輪を広げてもらえるとよいですね。

このほかり通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

## プレゼント

皆さんの声を募集します。本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。「まちな声」で紹介いたします。

※個別の回答はしません

応募・問い合わせ ハガキかメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号、まちな声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報係「まちな声」応募係・hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

お便りをくれた人の中から、らん蘭より上州牛すき焼きお食事券(1人前)を5人にプレゼント。応募締め切りは1月19日(金)当日消印有効です。

※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送もってかえさせていただきます



### 上州牛すき焼きお食事券(1人前)

極上の上州牛と県内できれいな新鮮な野菜を使ったおもてなし料理!

道の駅らん藤岡内「農産物直売所」左隣にあります。地元で採れた新鮮でおいしい野菜をふんだんに使ったレストランです。ぜひお越しください!

### ファミリーダイニングらん蘭

藤岡市中1131-8(道の駅らん藤岡内) ☎027731 営業時間/午前11時~午後3時、午後5時~8時(30分前よりオーダーストップ)、定休日/木曜日

プレゼントの提供者を募集しています。秘書課広報係☎02208までご連絡ください。

## 耳より情報

謹賀新年  
お正月を満喫!



明けましておめでとうございます。お正月は初日の出や初詣など、この時期にしか見られないもの・できないことが盛りだくさんです。

市内には庚申山の展望台や桜山公園など、初日の出を見るのに絶好のスポットもあります。皆さんも初日の出を拝み、清々しい気持ちで新年を迎えませんか。

### 関連イベント

初日の出選拝ウォーク 1月1日(初)午前6時20分~8時  
\*イベントの詳細は12月1日号広報13ページをご覧ください

## ふじおか Culture

~藤岡の文化を探る~ No.22

問い合わせ 文化財保護課(☎0235997)

## 「算聖」の碑をめぐる

~関孝和の偉業をたたえる~

本市を代表する偉人である和算家・関孝和。市民ホール西にはその偉業を顕彰する「算聖之碑」が建てられています。碑には「昭和3年(1928年)と、関の没した1708年から220年を経た撰文の年が記されており、本年は更に90年を重ねた年にあたります。碑の建立は翌1929(昭和4)年で、没後200年の時以来、数度の頓挫を経て実現しました。当初の設置場所は芦田城址で、現在地へは1988(昭和63)年に移設されました。

関孝和は「算聖」と呼ばれたとされていますが、その尊称が初めて登場するのは、没後33年を経た1741年刊行の書物とされています。他にも1781年の書簡に近似の表現が、墓のある東京の浄輪寺に建つ記念碑(1794年)には側面の文章中に明確な表現が見られます。

顕彰行事は100回忌以後50年毎に行われ、

名古屋に建てられたという100回忌の碑は所在不明ですが、150回忌の際に金沢で2基建てられた碑は現存しており、うち1基には正面に「算聖關先生之墓」と刻まれています。



芦田城址に設置してあった当時の「算聖之碑」